研　修　参　加　報　告　書

令和　８年　８月　７日
会　派　名　江南新風クラブ
会派代表者　　藤岡　和俊

参加者；藤岡　和俊
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和８年８月６日（木） ～ ８月７日（金）
研修時間	８月６日（木）１２：３０～８月７日（金）１４：３０
研修場所	全国市町村国際文化研修所（ＪＩＡＭ）
研修内容	令和８年度　市町村議会議員［２日間コース］「自治体予算を考える」 ８月６日（木） 【講義】１３：００～１４：００ 演題；自治体予算の原則 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【講義】１４：１５～１６：３０ 演題；歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【演習】１６：４５～１７：３０ 内容；グループ討議 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） ８月７日（金） 【講義】９：００～１１：３０ 演題；財政の現状把握～地方公会計の活用～ 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【演習】１２：３０～１４：３０ 内容；グループ討議（まとめ）、発表・質疑・まとめ 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）

研　修　参　加　報　告　書

年 月 日	令和８年８月６日（木） ～ ８月７日（金）
研修時間	８月６日（木）１２：３０～８月７日（金）１４：４５
研修場所	全国市町村国際文化研修所（ＪＩＡＭ）
研修内容	令和８年度　市町村議会議員［２日間コース］自治体予算を考える ８月６日（木） 【講義】１３：００～１４：００ 演題；自治体予算の原則 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【講義】１４：１５～１６：３０ 演題；歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【演習】１６：４５～１７：３０ 演題；グループ討議 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） ８月７日（金） 【講義】９：００～１１：３０ 講演；財政の現状把握～地方公会計の活用～ 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授） 【演習】１２：３０～１４：３０ 講演；グループ討議（まとめ）、発表・質疑・まとめ 講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）

■目的

地方議会は、広く住民の意見や要望を把握し、議論することによって、住民の未来を創造する役割を担っている。

地方の財政状況が厳しくなる中、住民の代表として一番身近な存在である地方議会は、まちの財政状況や施策を把握・議論することが重要である。

今回の研修では、行政と共に住民のための予算を作成するにあたり、必要な知識や視点を身につけていくことを目的としている。

令和８年度　市町村議会議員［２日間コース］自治体予算を考える

８月６日（木）
【講義】１３：００～１４：００
演題；自治体予算の原則
講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）
　予算の意義、予算の種類、会計年度独立の原則、総計予算主義の原則、予算単一主義の原則、予算公開の原則、予算の編成から成立・執行まで、予算の提案と議決、執行部内の予算編成の流れ、議会における予算審議、予算の再議、予算を伴う条例案と予算の関係（法２２２）、専決処分、予算編成から決算までの流れ

【講義】１４：１５～１６：３０
演題；歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント
講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）
〇予算のチェックポイント
　予算議案、予算に関する説明資料、予算の内容、歳入歳出予算、予算（その他）、議案の例、予算案のチェックポイント、地方交付税の仕組み、地方交付税の算定方法、臨時財政対策債について、課税自主権、地方債、地方債発行に関する制限、その他の歳入歳出に関する基本原則、歳出（目的別）、歳出（性質別）、歳出のチェックポイント、予算をチェック～令和８年度西宮市当初予算～、予算規模（全体の鳥瞰図を得る）、歳入の状況：特に一般財源の増減に注目、税収の動向、歳出費目（目的別）：その増減と要因に着目、歳出費目（性質別）：特に義務的経費の状況に注目、投資的事業の事業費とその増減、市債の残高の増減と推移、特別会計の規模と増減・その要因、基金残高の増減
〇決算について
　決算関係書類、決算の見方（歳入歳出決算書、収入未済額、不納欠損額、支出済額、不用額）、翌年度に繰り返す財源

【演習】１６：４５～１７：３０
演題；グループ討議
講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）
③財源確保策
財源確保のための工夫、超過課税（税率の引き上げ）や使用料等の住民負担の引き上げをめぐる問題、ふるさと納税について、その他
（４班）
加藤みなこ議員（埼玉県川越市議会）、千賀丈史議員（岐阜県恵那市議会）
藤岡和俊議員（愛知県江南市議会）、米満綾子議員（大阪府東大阪市議会）、
水原耕一議員（広島県熊野町議会）

８月７日（金）
【講義】９：００～１１：３０
講演；財政の現状把握～地方公会計の活用～
講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）
〇財源を診断する
　財政診断に活用できる資料、普通会計について、実質収支～歳入と歳出の収支は合っているか～、実質収支比率、単年度収支、実質単年度収支、財政力指数～財政面での豊かさの程度は～、経常収支比率、地方公共団体の財政の健全化に関する法律、健全化判断比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、令和６年度決算に基づく状況、
〇財政の現状把握②　地方公会計の活用
　地方公共団体と民間企業の会計、現金主義会計と発生主義会計、単式簿記と複式簿記、地方公共団体における財務諸表の作成、貸借対照表と行政コスト計算書のイメージ、財政書類４表構成の相互関係、現金主義会計（官庁会計）から発生主義会計（財務書類）のイメージ、統一的な基準による地方公会計の整備促進について、財務書類の対象となる団体（会計）、令和６年度決算（西宮市財務諸表）、統一的な基準による財務書類の作成状況（令和７年度末時点・総務省調査結果）、地方公会計と公共施設の適正管理の連携について、公共施設マネジメントにおける地方公会計情報の活用状況（令和７年度末時点）、活用の可能性（①「見える化」の推進、②指標による分析）

【演習】１２：３０～１４：３０
講演；グループ討議（まとめ）、発表・質疑・まとめ
講師；金﨑健太郎氏（武庫川女子大学経営学部教授）
③財源確保策
財源確保のための工夫、超過課税（税率の引き上げ）や使用料等の住民負担の引き上げをめぐる問題、ふるさと納税について、その他



（４班）
加藤みなこ議員（埼玉県川越市議会）、千賀丈史議員（岐阜県恵那市議会）
藤岡和俊議員（愛知県江南市議会）、米満綾子議員（大阪府東大阪市議会）、
水原耕一議員（広島県熊野町議会）
（まとめ：金﨑健太郎氏）
　人口が減ったから議員の数を減らすという意見があるが、むしろ逆である。
　平成のフルスペック型行政サービスをしていたころは少ない議員でも良かったが、今は究極の選択が求められている。何をやめるか、予算をどう使うか。
　どうやってコンセンサスをとるのか。すべてを住民に聞くことができないため、議会に求めるしかない。「議会が納得した＝市民が納得した」とするには、住民を代表する議員として何人が良いのか。
　住民にとって議会が身近かどうかも重要な指標になる。
　人口は減るが世帯数は増える。行政の負担は増加する。

■所感

効率性やコストの削減（身を切る改革）だけを重視すると、声の小さいマイノリティが切り捨てられてしまう危険性がある。人口が減っても、取り上げていかなければならない課題はむしろ増えている。例えば、小・中学校で児童・生徒数は減っているが特別支援学級の数は増えている、人口は減っているが後期高齢者の数が増えたり割合は増えたりしている、人口は減っているが世帯数が増えている（１人暮らし世帯や老夫婦の世帯が増えている）。

財政について考えるということは、これからの江南市を考えていくことにつながり、財政に関する正確な知識を持つことが重要であると感じた。

